

# 令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年( 2 )学年

◎教科( 社会 )

使用教科書	東京書籍 新編 新しい社会 歴史・地理		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然環境」「人口」「資源エネルギー」「地域間の結びつき」の4つの観点を通して日本の国土の特色を理解し、様々な視点から考える方法を身につける</li> <li>・日本の諸地域の特色を学び、その知識をもとに日本全体の特色に気づくとともに、地理的な見方や考え方を身につける</li> <li>・各資料を通して近世武家社会の諸政策を学習し、社会の変化や諸産業文化の発達について理解する</li> <li>・日本の近代化について、各資料を通して学習し、現代日本に成長する過程を理解するとともに、各事象の因果関係を理解し、説明できるようになる</li> </ul>		
学習計画	前期	4月 日本の地域的特色と地域区分 地域調査の手法(地形図) 5月 九州地方 中国・四国地方 6月 近畿地方 中部地方 7月 関東地方 東北地方 9月 北海道地方	
	後期	10月 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 11月 江戸幕府の成立と対外政策 12月 産業の発達と幕府政治の動き(享保の改革と社会の変化まで) 1月 産業の発達と幕府政治の動き(田沼意次の政治と寛政の改革から) 2月 欧米における近代化の進展 3月 欧米の進出と日本の開国	
主な活動形態や使用教材など	<p>【主な活動形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉学習・・・教師と生徒一人ひとりが向かい合う形で授業をします。</li> <li>・少人数学習・・・4人、もしくは6人で意見を出し合ったり、分担して調べ学習をしたりします。</li> </ul> <p>【主な使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書・・・学校で配布された教科書。</li> <li>・ノート・・・B5 もしくは A4 サイズの大学ノート。(教科担任より指定されたもの。)</li> <li>・筆記用具・・・鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、色ペン</li> <li>・タブレット PC(資料集)・・・学校で配布されたPC。</li> </ul>		
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程を通じた知識・技能を習得することができるか。</li> <li>・他の学習でも活用できる程度に概念を理解したり、技能を習得したりできているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・記述(ノート、ワークシート)</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識、技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・タブレットによる提出</li> <li>・授業中の発表活動</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識、技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。</li> <li>・時事問題への興味、関心を持ち、自分の意見を持つようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・記述(ノート、ワークシート)</li> <li>・タブレットによる提出</li> <li>・教師による行動観察</li> <li>・授業中の対話、発表活動</li> </ul>
学習についてのアドバイス	<p>【授業では】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明をよく聞きましょう。自分で調べる時間には、教科書やPCを使って自ら進んで調べられるようにしましょう。</li> <li>・話し合いをする場面では、自分の意見をしっかりと班員に伝えられるようにしましょう。また、周りの意見にもしっかりと耳を傾けましょう。</li> <li>・わからないときは教師や友人に聞けるようにしましょう。</li> </ul> <p>【家庭では】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークでの学習に繰り返し取り組みましょう。自分でどんどん進めていきましょう。特にテスト前には最低限2回は問題に取り組めるようにしましょう。</li> <li>・e ライブラリも積極的に活用していきましょう。</li> </ul>		

